

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
主な取組	沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	実施計画 記載頁	84	
対応する 主な課題	○県民のスポーツに触れる(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 ○生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県内唯一の公認第1種陸上競技場である沖縄県総合運動公園陸上競技場の機能を維持しつつ、J2規格サッカー公式戦を開催できるように改修する。 具体的には、既設メインスタンドの改修及び、バックスタンドの新設、夜間照明灯の新設、大型映像装置の新設、外構の改修を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
				一部供用開始(H27.3月)	平成28年4月全面供用開始予定		県
	J2規格サッカー場の整備(メインスタンド改修等)						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
沖縄県総合運動公園プロサッカースタジアム事業	74,700	7,182	陸上競技場改修のための基本設計を行った。 (基本設計:5施設[メインスタンド改修、バックスタンド新設、夜間照明灯の新設、大型映像装置の新設、外構])【一括交付金(ソフト)】	-
活動指標名			計画値	実績値
J2公式戦開催に向けた陸上競技場のための設計			-	基本設計:5施設
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	○基本設計案の完成			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄振興特別推進交付金	1,334,518 (67,518)	陸上競技場改修のための実施設計を行い、バックスタンド等の工事に着手する。 (実施設計:5施設)(工事着手:2施設[バックスタンド新設等]) 【一括交付金(ソフト)】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度において基本設計及び実施設計の実施を予定していたが、Jリーグ協会の認定基準と沖縄陸上競技協会からの要望等のすり合わせに時間を要することとなり、実施設計は平成25年度に繰り越すこととなった。しかしながら、基本設計段階において、両協会から大筋の了解を得た案が完成したため、早期に実施設計を完了し、工事工程等の見直しも含め検討している。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
陸上競技場(プロサッカー対応可能)年間利用者数	17万4千人 (H22・H23年)	16万6千人 (H24年)	22万5千人	-8千人	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	現状値が基準値を下回っている主な要因は、開催された大会数や入場者数の減少によるものである。 今後の取組により、J2基準のホームスタジアムが完成し、J2公式戦が開催されるようになれば、平成28年度の目標は達成可能と考える。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

○実施設計段階においても、Jリーグや沖縄陸上競技協会等との調整に時間を要する可能性がある。
○大規模な基礎工を実施するバックスタンド等については、工期及び工事費が想定以上にかかる可能性がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

○関係機関とスムーズな意思疎通を図り、問題点の抽出、解決策の提示等を迅速に行うことにより、早期に実施設計を完了したい。
○大規模な基礎工の発生するバックスタンド等については、不確定要素もあることから、実施設計後、優先的に発注し、事業を早期に完了したい。

4 取組の改善案(Action)

○Jリーグ及び沖縄陸上競技協会等と綿密に調整を行い、実施設計を円滑に進捗させ、早期に大規模な基礎工を要するバックスタンド等の工事着手へとつなげ、平成26年度末の完成を目指す。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成		
施策	③スポーツ・レクリエーション環境の整備			
主な取組	都市基幹公園等の整備	実施計画 記載頁	84	
対応する 主な課題	生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	スポーツやレクリエーション活動の場として利用できる都市公園の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	69.3% 整備率			→	72.6%		県 市町村
	総合公園、運動公園等の整備					→	
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
公園費(社会資本整備交付金)他	2,431,545 (877,004)	1,721,677 (873,592)	スポーツ・レクリエーション活動として利用できる場を形成するため、園路、広場等の整備を行った。用地取得等が計画どおりに進んでおらず、やや遅れとなっている。【内閣府計上他】	-
活動指標名			計画値	実績値
整備率			69.3% (24年度)	集計中
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	スポーツやレクリエーション活動の場として利用できる都市公園の整備をすることで、健康スポーツ・レクリエーション施設の充実し、県民の健康増進に繋がる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
公園費(社会資本整備交付金)他	1,135,655 (680,456)	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、園路、トイレ、駐車場等の整備を行う。【内閣府計上他】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

公園事業の事業進捗を図るために、用地取得が不可欠であることから、地元自治会、関係者等とも協力しながら、公園事業の必要性等、重要性を説明し、事業を推進していく必要がある。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.0㎡ (22年度)	6.0㎡ (23年度)	6.5㎡	0㎡	4.1㎡ (23年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	公園事業の事業進捗を図るため、早期の公園事業用地取得に努め、事業を推進しているところであるが、地権者等の協力が得られないことや、人口増加に伴う社会情勢の変化等による影響もあり、成果指標としては、基準値と同値となった。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

公園整備については、地権者等の協力が得られていないことにより、用地取得や物件補償等も計画どおりに事業進捗しておらず、効率かつ効果的な整備ができない状況である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

事業を進捗させる代替案等はないものの、公園整備については、予算制約がある中において、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率かつ効果的な整備に努め、さらに公園用地取得に向けては、地元自治会、関係者等とも協力しながら事業を推進していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

予算確保に努めるとともに、引き続き、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業が推進する。また、不測の事態にも対応できるよう配慮し計画的な整備を行っていくとともに、整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大に努めていく。